

アンソロジー内容総覧

外国の詩歌
1946
|
2020

凡 例

1. 本書の内容

本書は、1946年（昭和21年）から2020年（令和2年）までに日本国内で刊行された海外の詩作品を主に収録したアンソロジー334冊の内容細目集である。7,140人の作家の29,906タイトル（作者不詳の作品を一部含む）の作品を収録した。

2. 収録対象

(1) 外国人作家による詩のアンソロジーを収録したが、以下の場合は収録対象外とした。

- ・一人の作家の作品だけを集めたもの
- ・児童書
- ・作者不詳の叙事詩・民謡・口承詩等を中心としたもの

(2) 外国人作家による詩だけでなく他の形式の作品も集めたものについては、外国人作家による詩を中心にしていると判断される場合に限って収録した。

3. 図書の分類

収録作家の出身地域・国によって細分し見出しを立てた。複数の地域・国にまたがるものは「世界」の見出しの下に分類した。

4. 図書の排列

- (1) 各見出しの下に、書名の五十音順に排列した。なお、書名がアルファベットで始まるものは五十音順の末尾にABC順で排列した。
- (2) 濁音・半濁音は清音扱いとし、ヂ→シ、ヅ→ス、ヅ→ウとみなした。拗促音は直音扱いとし、長音（音引き）は無視した。

5. 記載事項

採録にあたっては全て原本により調査し、原本目次に記載がない項目や副題についても可能な限り掲載した。

(1) 記載形式

- 1) 作品名・作家名・全集名などの表記は、原則として原本の表記を採用した。
- 2) 漢詩は、原本にある返り点は記載を省き、書き下し文があればそちらを採用した。
- 3) 短詩形式の作品や断片のみの作品について、冒頭部のみを記載し、「……」を付して後を略したことがある。

(2) 記載項目

文献番号（ [] で表示 ） / 書名 / 副書名 / 版表示 / 巻次
編者・訳者名
出版者 / 出版年月 / 頁数 / 大きさ / 叢書名 / 叢書番号 / 叢書責任者名
ISBN
内容目次（作品名 / 著者・訳者名（ () で表示 ） / 原本掲載開始頁）

6. 作家名索引

- (1) 各作品の著者を姓の五十音順、名の五十音順に排列した。アルファベット表記は末尾にまとめた。
- (2) 原本の表記が分かれている作家名は統一し、『詩経』など作者がない作品群の名称も便宜的に作家名とした。
- (3) 作家名の下に作品名を五十音順に示した。
- (4) 図書の所在は本文の文献番号で示した。
- (5) 作者不詳の作品は末尾にまとめた。

7. 作品名索引

- (1) 各作品名を五十音順に排列し、作家名を補記した。欧文表記は末尾にまとめた。
- (2) 同一作品名で異なる作品については、作家名の五十音順に排列した。
- (3) 図書の所在は本文の文献番号で示した。

8. 参考資料

本書の編集に際し、以下の資料を参考にした。

データベース「BookPlus」

JAPAN/MARC

目 次

凡 例	(6)
収録アンソロジー一覧	(8)
アンソロジー内容総覧 外国の詩歌 1946-2020	
世 界.....	1
アジア.....	49
韓国・朝鮮.....	49
中国.....	68
台湾.....	217
東南アジア.....	231
ベトナム.....	231
タイ.....	235
シンガポール・マレーシア.....	236
インドネシア.....	238
南アジア.....	239
インド.....	239
ネパール.....	241
西アジア.....	243
イラン.....	243
イスラエル.....	244
その他.....	245
モンゴル.....	245
ウイグル.....	246
欧 米.....	248
イギリス.....	294
ドイツ.....	331
フランス.....	368
スペイン.....	433
イタリア.....	439
ギリシア.....	446
ロシア.....	460
アメリカ合衆国.....	466
中南米.....	488
その他.....	490
スイス.....	490
オーストリア.....	493
ブルガリア.....	494
クロアチア.....	495
フィンランド.....	496
カナダ.....	498
アフリカ.....	500
作家名索引.....	505
作品名索引.....	741

韓国・朝鮮

[031] 愛の時調—コリア恋愛詩集

瀬尾文子著

角川学芸出版、角川グループパブリッシング

[発売] 2011.3 207p 22cm

ISBN978-4-04-653216-9

序にかえて(篠弘).....	3
はじめに(瀬尾文子).....	6
時調(シジョ)とは.....	8
第一部 愛の現代韓国時調.....	17
1. 僕の恋は(キム・ジュン(金埴)).....	18
2. 妻の顔 I(キム・ジュン(金埴)).....	19
3. 妻の顔 II(キム・ジュン(金埴)).....	20
4. 妻の顔 III(キム・ジュン(金埴)).....	21
5. 愛の為に(キム・ジュン(金埴)).....	22
6. ある日の思い(キム・ジュン(金埴)).....	23
7. 恋の歌(キム・ジュン(金埴)).....	24
8. 恋(ウォン・ヨンムン(元容文)).....	25
9. コスモス(ウォン・ヨンムン(元容文)).....	26
10. 愚か(ウォン・ヨンムン(元容文)).....	27
11. パラ(キム・ドンジュン(金東俊)).....	28
12. 春の雪(チョン・ソバ(鄭韶坡)).....	29
13. 恋(キム・ソク Chol(金錫喆)).....	30
14. 冬の山鳥は(キム・ナムファン(金南煥)).....	31
15. 春(キム・ナムファン(金南煥)).....	32
16. 恋慕(キム・ナムファン(金南煥)).....	33
17. サルビアの花壇の前で(パク・ビョン スン(朴炳淳)).....	34
18. 夢魂 I(パク・ビョンスン(朴炳淳)).....	35
19. 夢魂 II(パク・ビョンスン(朴炳淳)).....	36
20. 貴女(あなた)に(キム・ヨンドク(金英徳)).....	37
21. 相思花(キム・ヨンドク(金英徳)).....	38
22. 奇しき曲がり角の道(パク・チョンデ (朴鍾大)).....	39
23. 椿の下(パク・チョンデ(朴鍾大)).....	40
24. 椿(キム・ミンジョン(金珉廷)).....	41
25. 恋(キム・ミンジョン(金珉廷)).....	42
26. 幸福な国(キム・ミンジョン(金珉廷)).....	43
27. 私は長江になれ(キム・ミンジョン(金 珉廷)).....	44
28. 愛 永遠の道(キム・ミンジョン(金珉 廷)).....	45
29. 愛 I(ピ・チョンドック(皮千得)).....	46
30. 愛 II(ピ・チョンドック(皮千得)).....	47
31. 愛 III(ピ・チョンドック(皮千得)).....	48

32. 水色(ムン・ムハク(文武鶴)).....	49
33. 風(ムン・ムハク(文武鶴)).....	50
34. 僕の生命の花(オ・ドンチュン(吳東春)).....	51
35. 情(ユ・ソン(柳善)).....	52
36. 貴女の眸(ユ・ソン(柳善)).....	53
37. 静かに来られた貴女(あなた)(チェ・ス ンボム(崔勝範)).....	54
38. 携帯電話(シン・ピリョン(申必榮)).....	55
39. 恋歌(パク・キソプ(朴基燮)).....	56
40. 焦燥(シム・ソンボ).....	57
41. 白木蓮(キム・オクチュン(金玉中)).....	58
42. 恋(シン・テジュ).....	59
43. 妻 I(パク・ビルサン(朴必相)).....	60
44. 妻 II(パク・ビルサン(朴必相)).....	61
45. 紅葉(もみじ)狩り(シム・ウンムン(沈應 文)).....	62
46. 再び逢いを(キム・キョンジャ(金京子)).....	63
47. 初恋の追憶(キム・ヘソク(金海石)).....	64
48. 散歩道(キム・ヘソク(金海石)).....	65
49. 不二の歌(ミン・ビョンド(閔炳道)).....	66
50. 河の歴史(キム・ウォルチュン(金月煥)).....	67
51. 貴重な愛 I(チョン・ヒシク(曹喜植)).....	68
52. 貴重な愛 II(チョン・ヒシク(曹喜植)).....	69
53. 貴重な愛 III(チョン・ヒシク(曹喜植)).....	70
54. 妻はわが親友(コ・トック(高斗錫)).....	71
55. 恋の詩(イ・スンウン(李承恩)).....	72
56. 哀歌(キム・クァンス(金光洙)).....	73
57. 初恋(キム・スジャ(金秀子)).....	74
58. 我の仰ぐ人へ(ユ・サンドク(柳相徳)).....	75
59. 恋(アン・ジョンエ(安貞愛)).....	76
60. 陽が昇る(キム・ムノク).....	77
61. 芽生えた木(キム・イムソン).....	78
62. 冬の木(ナ・スノク(羅順玉)).....	79
63. セレナーデ(キム・ソノ(金喜鏡)).....	80
64. 春雨(キム・サギユン(金思均)).....	81
65. 採蜜期(イ・ウンバン(李殷邦)).....	82
66. 悲歌(パク・オククム).....	83
67. 彼女の姿 I(リ・テグク(李泰極)).....	84
68. 彼女の姿 II(リ・テグク(李泰極)).....	85
69. 向日葵のように(イ・ホウ(李鎬雨)).....	86
70. かげろう(イ・ヨンド(李永道)).....	87
第二部 愛の古時調.....	89
71. こころ愚かになり(徐敬徳(ソ・キョン ドク)).....	90
72. 我 いつ信なくも(黄真伊(ファン・ジ ニ)).....	91
73. ああ 我がことよ(黄真伊(ファン・ジ ニ)).....	92
74. 冬至の長々し夜を(黄真伊(ファン・ジ ニ)).....	93
75. 青山は 我が心(黄真伊(ファン・ジニ)).....	94
76. 山は昔の山なれど(黄真伊(ファン・ジ ニ)).....	95

77. 青山裡 碧溪水よ(黄真伊(ファン・ジ ニ)).....	96
78. 青草の茂れる谷に(林梯(イム・チェ)).....	98
贈答歌.....	99
79. 北天の明るさに(林梯(イム・チェ)).....	99
80. なぜに凍え寝る(寒雨(ハンウ)).....	99
81. 梨花雨降り頻るとき(桂娘(ケラン)).....	100
82. 夢に通う道の(李明漢(イ・ミョンハ ン)).....	101
83. 梧桐の葉落ちて(鄭澈(チョン・チョ ル)).....	102
84. 琴の大絃を弾ずれば(鄭澈(チョン・チョ ル)).....	103
85. 出で立ちし頃はいつ(鄭澈(チョン・チョ ル)).....	104
86. 我が心を削り取り(鄭澈(チョン・チョ ル)).....	105
87. 松林に雪降りて(鄭澈(チョン・チョ ル)).....	106
88. 我が身を切り苛み(鄭澈(チョン・チョ ル)).....	107
89. 花は灼灼 蝶は双双(鄭澈(チョン・チョ ル)).....	108
90. 山の柳を折り折れぬ(洪娘(ホンナン)).....	109
91. 昨夜(きよ)に雨降りて(申欽(シン・フ ム)).....	110
92. 窓の外にかさこそ(申欽(シン・フム)).....	111
93. 言の契りは延びゆき(朴熙錫(パク・ヒ ソク)).....	112
94. 鶯よ 飛び去れ(朴熙錫(パク・ヒソク)).....	113
95. 残燈は耿耿と(朴熙錫(パク・ヒソク)).....	114
96. 秋のながながしき夜(金天沢(キム・チ ョンテク)).....	115
97. 眉は蛾の 留まれるが如く(金寿長(キ ム・スジャン)).....	116
98. 夫(きみ)の病みて 銭が尽き(金寿長(キ ム・スジャン)).....	117
99. 織女の鳥鵲橋を(金友奎(キム・ウギ ユ)).....	118
100. 秋の明るき月に(李鼎輔(イ・ジョン ボ)).....	119
101. おお 汝なるか(李鼎輔(イ・ジョン ボ)).....	120
102. 乙女ら 花を見よ(李鼎輔(イ・ジョン ボ)).....	121
103. 佳人 落梅曲を(李鼎輔(イ・ジョン ボ)).....	122
104. 君は旅立つときに(李鼎輔(イ・ジョ ンボ)).....	123
105. 君を恋うる病の(李鼎輔(イ・ジョン ボ)).....	124
106. 老いて邂逅せし君に(李鼎輔(イ・ジョ ンボ)).....	125
107. 堀内に立てる花は(申献朝(シン・ホ ンジョ)).....	126

108. 東門より出ずれば(安政英(アン・ミ ニョン)).....	127
109. 遙か雲の端(は)に潜める(安政英(ア ン・ミニョン)).....	128
110. 君よ離別のときに(安政英(アン・ミ ニョン)).....	129
111. 愁いがちなる君が顔(かんはせ)(安政英 (アン・ミニョン)).....	130
112. 風は漸瀝 雪は霏霏(安政英(アン・ミ ニョン)).....	131
113. こは 如何なる急病ぞ(安政英(アン・ ミニョン)).....	132
114. 麻のバジに鉄を担ぎ(申喜文(シン・ ヒムン)).....	133
115. 夢に逢う君とは(明玉(ミョンオク)).....	134
116. 玉もて白馬を彫り(作者未詳).....	135
117. 雷声を発する君と(作者未詳).....	136
118. 天中 端午の節に(作者未詳).....	137
119. 金樽に酒の滴る音と(作者未詳).....	138
120. 南楼の太鼓が鳴り(作者未詳).....	139
121. 恋い焦がれ生きず(作者未詳).....	140
122. わが身は死に果て(作者未詳).....	141
123. 後庭歌(作者未詳).....	142
124. 東窓 すでに明け(作者未詳).....	143
125. 愛 愛 長き長き愛(作者未詳).....	144
126. 一字書き 涙がこぼれ(作者未詳).....	145
127. 風よ吹き給え(作者未詳).....	146
128. 双の瞳の麗しき涙(作者未詳).....	147
129. 春水 四沢に満ち(作者未詳).....	148
130. 青天に浮かべる鷹は(作者未詳).....	149
131. わが恋を人に与えじ(作者未詳).....	150
132. 石窓の花尽きて(作者未詳).....	151
133. 雪月 満窓の時(作者未詳).....	152
134. 数日前 君と離別し(作者未詳).....	153
135. 窓外三更 細雨の時(作者未詳).....	154
136. 眼より覚むれば(作者未詳).....	155
137. 鷄よ鳴くなかれ(作者未詳).....	156
138. 銀河の水満ちて(作者未詳).....	157
139. 心 咫尺ならば(作者未詳).....	158
140. 愛をくるくる捲きて縛り(作者未詳).....	159
第三部 愛の李朝歌辞.....	161
141. 思美人曲(鄭澈(チョン・チョル)).....	162
第四部 愛の高麗・新羅・百濟・高句麗・古朝 鮮の歌謡.....	173
142. 満殿春(作者未詳).....	174
143. 亡妹を祭る歌(月明師).....	175
144. 処容歌(処容).....	176
第五部 愛の漢詩.....	179
145. 献花歌(牛を牽く老翁).....	180
146. 罌童謡(罌童).....	181
147. 井邑詞(行商人の妻).....	182
148. 黄鳥歌(瑠璃王).....	183
149. 公無渡河の歌(白髮狂人の妻).....	184

東京での黎明 199
 その地で、異邦人として 200
 クラウス・アンデルソン 203
 芝生としてのわたしの来世については 204
 緑なす白樺の下 206
 夏をわたしたちは思い出す 207
 わたしが生まれた頃 209
 都市(まち)の名はヘルシンキ 212
 十一月のヘルシンキ 217
 おいで、一緒に白樺の木に登ろう 220
 ここから、まだ残っているものすべて
 が 221
 世界は汗をかき 223
 ニルス＝アスラク・ヴァルケアパー 227
 彼は学校へと去って行った 228
 彼は全寮制の学校に住むために 229
 人が厳粛に、そして賢い 231
 生命の音が聞こえるかい 231
 間の中、丘陵(トカントゥリ)の脇に 232
 視界の果てまでもつづく 233
 生命には、成長の火がついた 233
 春の夜は 234
 こうして日々は移り、夜は過ぎて行く 235
 棧橋を歩くと 236
 秋の環はうつろに 236
 丘陵(トカントゥリ)がもやの中に 237
 この時期には思いもかけぬものまでが見う
 けられる 239
 とうとう海は 240
 その季節が来ると 241
 雨を伴って 242
 春の季節に光は燃える 243
 詩人たちとその作品 245
 おわりに(大倉純一郎) 276

カナダ

[329] ケベック詩選集—北アメリカのフ
 ランス語詩
 立花英裕、真田桂子編訳、後藤美和子、佐々
 木菜緒訳
 彩流社 2019.6 322p 19cm
 ISBN978-4-7791-2572-0

ケベックの詩—アンソロジーに寄せて(ピエー
 ル・ヌヴェー著、真田桂子訳) 3
 オクターヴ・クレマズィ(立花英裕訳) 21
 ボトワトミ族の男 22
 散策する三人の死者(抄訳) 24
 I. 蛆虫 24

ルイ・フレシェット(立花英裕訳) 27
 一月 28
 ミシシッピー川の発見 29
 アルベール・ロゾー(後藤美和子訳) 35
 最後の炎 36
 一日の塵 37
 エミール・ネリガン(立花英裕訳) 39
 知性の月光 40
 黄金の船 41
 冬の宵 42
 葬送の音楽 44
 酒(ワイン)のロマンセ 46
 幻 49
 ジャン＝オベール・ロランジェ(佐々木菜緒訳) 51
 時の間(ま)(抄訳) 52
 I 52
 II 53
 III 54
 X 55
 XVIII 56
 XIX 57
 アラン・グランボア(立花英裕訳) 59
 おお 痛みよ 60
 あなたのドレス 63
 箆筒を閉めようではないか 64
 沈黙(抄訳) 68
 アルフレッド・デロシェ(立花英裕訳) 73
 森と野の連作—はじめに 74
 シティホテル 77
 屠殺場 79
 北風賛歌(抄訳) 80
 リナ・ラニエ(真田桂子訳) 83
 悪の深海(抄訳) 84
 詩の仄暗き誕生(抄訳) 85
 サン＝ドニ・ガルノー(立花英裕訳) 89
 そこなら支えもなく 90
 歩哨 90
 鳥籠 92
 連れの者 94
 アンヌ・エペール(真田桂子訳) 97
 やせっぽちの少女 98
 小さな死 100
 王の墓 102
 分別に打ち砕かれて 106
 ジル・エノー(後藤美和子訳) 109
 セマフォール(抄訳) 110
 I 110
 II 111
 IV 112
 IX 112
 X 113
 XII 114

クロード・ゴヴロー(後藤美和子訳) 117
 真夜中のオーロラは潰れた目をしている 118
 敵へのオード(抄訳) 120
 [熱湯に浸された平原.....] 121
 ガストン・ミロン(立花英裕訳) 123
 私の美しき愛よ 124
 私は君に手紙を書く(抄訳) I 125
 愛の行進 127
 複数のアメリカと共に歩む者 138
 十月 142
 私の掃還のために 144
 ケベカントロープ 145
 ロラン・ジゲール(真田桂子訳) 147
 死刑執行人の手は必ずや朽ち果てる 148
 言葉の波 149
 ホール＝マリー・ラボワント(後藤美和子訳) 153
 [白い花々の ピンクの花々の着物.....] 154
 冬眠 155
 フェルナン・ウエレット(立花英裕訳) 157
 難破 158
 カップル 159
 刻限(抄訳) 160
 ガシアン・ラボワント(立花英裕訳) 167
 サン＝ローラン川へのオード(抄訳) 168
 ジャック・ブロー(真田桂子訳) 177
 亡き兄と祖国に捧げる組曲 178
 十一月の騒ぎ(抄訳) 189
 死後の友情(抄訳) 190
 かるい目眩 191
 孤独のレッスン 192
 田園詩 192
 ミシェル・ラロンド(立花英裕訳) 195
 スピーク・ホワイト 196
 イヴ・プレフォンテース(佐々木菜緒訳) 205
 空き家になった民 206
 不意に破裂する国よ 208
 マドレーヌ・ガニョン(後藤美和子訳) 211
 [森に入る時は.....] 212
 [石を書く.....] 213
 ジェラルド・ゴダン(立花英裕訳) 215
 愛のカントゥーク 216
 そのあと 220
 小鳥の心 221
 ジルベール・ランジュヴァン(後藤美和子訳) 225
 十一月(抄訳) 226
 ホール・シャンベルラン(立花英裕訳) 231
 ビラ貼りが叫ぶ(抄訳) 232
 ミシェル・ボーリュエ(立花英裕訳) 239
 ある預言者のためのオラトリオ 240
 悪い日 242
 ピエール・モランシー(後藤美和子訳) 245

[ここだ 私がいて君がいるのは.....] 246
 歩行者の寢室 247
 [苦しみは苦しみの苦しみだ.....] 249
 [たくさんのマネシツグミに続き.....] 249
 オブール、土曜日 250
 ニコール・プロサール(佐々木菜緒訳) 253
 六つの震えについての仮想 254
 トロント 256
 ドゥニーズ・デゾテル(後藤美和子訳) 259
 [時折、何もなくなる.....] 260
 天使の跳躍(抄訳) 261
 ビエール・ヌヴェー(真田桂子訳) 263
 待つ 264
 大切な動詞 265
 敬意 266
 ジョゼフィース・パコン(後藤美和子訳) 269
 [北が私を呼んでいる.....] 270
 ジャン・シウイ(佐々木菜緒訳) 273
 [昔の人々の皺を読む.....] 274
 [私は思い起こす.....] 274
 [幾星霜にわたる廃墟の下.....] 275
 [ポケットの中に影を入れて.....] 276
 [時間の円環的思想においては.....] 277
 ジョエル・デ・ロズイエ(立花英裕訳) 279
 カイ 洲の町(抄訳) 280
 マリー・ウグ(後藤美和子訳) 285
 [今 私たちは大きなテラスに座ってい
 る.....] 286
 [小さな黄色い椅子に.....] 287
 エレーヌ・ドリオン(佐々木菜緒訳) 289
 [割れ目が.....] 290
 [記憶はどこに身をおけばよいか.....] 291
 [声の中に名前が現れると風景がはじま
 る.....] 295
 ルイ＝カルル・ピカル＝シウイ(立花英裕訳) 297
 思い出すんだ 298
 ナタシャ・カナベ・フォンテース(真田桂子
 訳) 305
 宣言する わが大地よ(抄訳) 306
 訳者あとがき(立花英裕) 311

【あ】

阿 羊

秋の音 107
 錯乱 107
 藍 仁
 暮れに山中に帰る 101
 艾 青
 乞食 079
 石炭との対話 026
 手おし車 017
 春 017
 人の皮 014, 019
 宝石の赤い星 089
 毛沢東 089
 わたし この土地を愛し 079
 相澤 啓三
 オオアマネコ 009
 アイスキュロス
 マラトーンの戦いに驚れし
 テッサリア人に 169, 305
 アイヒ、ギェンター
 軌跡 225
 棚卸し 241
 人間が人間の敵であることに
 ついて考えよう 228
 罌粟 026
 忘れることのできる人 225
 アイヒェンドルフ、ヨーゼ
 フ・フォン
 あこがれ 017, 226, 237, 241
 異郷で 242
 異郷にて 158, 232
 美しき異郷 242
 おもひで 186
 思い出 221
 悲しみ 242
 間奏曲 242
 掃省 026
 郷愁 234, 238, 249
 郷愁 232
 苦樂 234, 238
 月夜 159, 232, 233, 242
 月夜 226
 元気な出発 235
 故園 239
 故郷 232
 古風な庭 234, 238
 すがすがしい旅 240
 たそがれ 242
 楽しい放浪児 232
 旅のうた 235
 旅びとの格言 235
 追思 234, 238, 249

月の夜 243
 憶恨 234, 238, 249
 外國にて 234, 238
 春の夜 159, 242
 晩年 229, 233
 古い庭 232
 ふるさと 017, 235
 森の中で 232
 夜鶯 022
 夕暮 232, 235
 夜 158, 235, 239
 夜の花 240
 悦ばしき旅人 186
 良夜 180, 229, 236, 239
 老年 229, 236, 239
 わが子の死に寄せて 226, 232
 アイヒンガー、イルゼ
 思いふたがるときに 325
 書かれなかったものの終り
 に 325
 国のそと 325
 三月 325
 散歩 325
 問いのひとつ 325
 冬の訪れ 325
 フロレスタン 325
 山ざわ 325
 アイムネサ・ソライマン
 君がため 156
 恋焦がれる 156
 創造の伝説 156
 光の糸 156
 アイメリック・デ・ベギ
 ヤン
 私は宮廷で幾度か問われたも
 のだ 266
 アイン・ゴック
 老いた將軍 146
 アイン・トー
 カッコウの鳴き声 146
 南方のお母さんに寄せる 144
 アウォノー、コフィ
 再発見 334
 大聖堂 331, 334
 アウスレンダー、ローゼ
 海 244
 エチュード 244
 カミルレ 244
 草 244
 交流 244
 叫びと水晶 244
 七月 244
 十二月の雪 244
 セイレンたちが歌う 244
 父 244

二十四時間 244
 パーク アヴェニュー パー
 ティ 244
 バッテリー パーク 244
 バラがしほむ 244
 ブナの葉 244
 亡命した兄弟よ 244
 目の見えない人の夏 244
 リルケ 244
 わたしが深呼吸をしている間
 に 244
 わたしのナイチンゲール
 244
 我等の父よ 244
 アウソニウス
 富者のせりふ 183
 アウトメドーン
 挫折 305
 眞の賢者 305
 青木 正児
 麴世界 かうちの せかい
 088
 瓶蓋病 てうし さかづきの
 やまび 088
 禍泉 わざはひの いづみ
 088
 青木 みつお
 ベトナムとわたし 146
 アカクボ、アヒアンヨ、ア
 ナニ
 大西洋 331
 アガティアース
 主婦の捧げ物 305
 トロイアを偲びて 305
 満ち足りし願ひに 173
 遊女ラーイスの墓 305
 アカン族
 子守歌 004
 秋田 高敏
 煌めき 146
 アキテース公ギョーム九世
 わたしは他の誰も愛さない—
 シャンソン 250
 秋野 かよ子
 歌は忘れない 146
 秋谷 豊
 影 002
 蟬 010
 登攀 028
 読書 029
 秋山 泰則
 私が若くて何も知らなかった
 頃ベトナムでは 146
 アクサル、サバハッティ
 ン・クドレト
 海のそばで 183

【あ】

ああ (『詩経』) …………… 114	ああ 人はそを思え (メーリケ) …………… 237	愛Ⅲ (ピ・チョンドック (皮千得)) …………… 031
ああ アンセルム (アルトマン) …………… 244	ああ 人はそを思え! (メーリケ) …………… 226	相合傘の契り (余 光中) …… 140
ああ、愛しい人よ、昨夜は! (バルボサ) …………… 322	ああ、向日葵よ (ブレイク) …… 219	愛 愛 長き長き愛 (作者不詳) …… 031
ああ 愛しいひとよ なんと幸せだったことか (テニスン) …… 165	ああ ひまわりよ (ブレイク) …… 204	愛あふれる視線 (トンマーズ・ディ・サツ) …………… 296
[ああ、いま、万物は…] (ハーワード) …………… 199	ああもうだめだ! (デ・ラ・メア) …………… 197	アイアンシ (ランダー) …… 203
あ、今は (ベラスコ) …………… 292	あ、もし君が東の間も (トルストイ) …………… 186	アイアンシー (ランダー) …… 214
ああ、いま私が純銀で千マルク持っていたなら (ピストレタ) …………… 266	ああ やつらはストーヴさえも奪っていく! (ピャオシエフスキ) …………… 004	アイアンシーの悩み (ランダー) …………… 194
ああ、うわあっ (デ・ラ・メア) …………… 188	ああ 折り返し歌 (ラウンドリー) をうたって (チャッタートン) …… 164, 167	愛 永遠の道 (キム・ミンジョン (金 珉廷)) …………… 031
ああ、幼き頃、幼き頃よ (ニエミネン) …………… 328	ああ、廊下 (フォーール) …… 287	愛へと僕は戻り (コクトー) …… 179
ああ御主…… (ゲラン) …… 255	ああ 我ががことよ (黄 真伊) …… 031	愛への誘い (ダンパー) …… 171
ああ 悲しい 悲しい 気持ちだった (ヴェルレーヌ) …………… 179	ああ! 私は (カルコ) …… 256, 290	アイエル・ビルー (タンプー) …… 148
ああ、かの人に焦れて (ハートラウブ) …………… 324	あ、わたしの祖国よ (辛 東門) …………… 032	愛をうしなったら (三井 ふたばこ) …………… 002
ああ聴け この調べいみじい調べ (シユレーダー) …………… 223	ああ わたしの疲れた足よ (ビューヒナー) …………… 231	相い送る (何 遜) …………… 056
ああ季節よ城よ (ランボー) …………… 003	ああ、わたしはお前が好きだ (カルコ) …………… 282, 291	相送る (何 遜) …………… 099, 116
あ、恋とは何か (スコット) …………… 203	あい (谷川 俊太郎) …………… 001	愛をくぐる抱きて縛り (作者不詳) …………… 031
ああ 恋について…… (ヴァンタドゥール) …………… 276	愛 (アポリネール) …………… 260	[相送る 勞勞諸…] (作者不詳) …………… 116
ああコオロギの (スオポー) …………… 244	愛 (アルトー) …………… 257, 261	愛を取り戻す (ヴィヴィエ) …… 252
ああ、国家! (楊 鍵) …………… 108	愛 (イワノフ) …………… 309	アイオワの春, 1971 (片桐 ヌズル) …………… 146
ああ、この眼がなんの役に立とうか (ソルデル) …………… 266	愛 (ヴィルデュー夫人) …… 169, 285	哀歌 (ヴェルレーヌ) …… 256, 290
—ああ、主よ、われ如何にしてけん! (ヴェルレーヌ) …… 278	愛 (金 深暎) …………… 037	哀歌 (キム・クァンス (金光 洙)) …………… 031
ああ「船長」よ! ほとくの「船長」よ! (ホイットマン) …… 313	愛 (金 龍澤) …………… 013	哀歌 (グレイ) …………… 177
ああ そは 思えかし (メーリケ) …………… 239	愛 (ギュンター) …………… 221	哀歌 (シェリー) …………… 205
ああ そは 思へかし (メーリケ) …………… 229, 236	愛 (ゲーテ) …………… 221	哀歌 (ジャム) …………… 282, 291
ああ、何というわたしたち (サーリコススキ) …………… 328	愛 (コールリッジ) …… 024, 174	哀歌 (デボルド=ヴァルモール) …………… 255
ああ 涙でいっぱいひとよ (リルケ) …………… 245	愛 (西條 八十) …………… 029	哀歌 (西脇 順三郎) …………… 273
ああ、なんと望ましいことか (キーツ) …………… 167	愛 (笹沢 美明) …………… 002	哀歌 (ブーシキン) …………… 308
ああ、花のさかりに散ったひとよ (バイロン) …………… 017	愛 (スミス) …………… 196	哀歌 (プロベルティウス) …… 173
ああ、花のさかりに散りしひとよ (バイロン) …………… 158	愛 (谷川 俊太郎) …………… 003	哀歌 (ペドウス) …………… 203
ああはるかな園 (ベン) …… 249	愛 (ツルゲーネフ) …… 015	哀歌 (5) (ラマダン・K・H) …… 149
ああ 遙かな国 (ベン) …… 222	愛 (デイ) …………… 150	哀歌 (7) (ラマダン・K・H) …… 149
ああ、春はばらの花とともに…… (オマル・ハイヤーム) …… 207	愛 (デイエゴ) …………… 293	哀歌 (エレゲイア) (シモーニテース) …………… 300
	愛 (スーヴォー) …………… 283	哀歌 第一—サマンに送る 哀歌 (ジャム) …………… 256, 290
	愛 (ハーバート) …… 175, 198	哀歌 第七 (ジャム) …… 256, 290
	愛 (ヒメネス) …………… 018	哀歌 第七 (ジャム) (片桐 ヌズル) …… 003
	愛 (プロツキー) …………… 026	哀歌 第十四 (ジャム) …… 192, 256, 290
	愛 (ヘッセ) …………… 015	哀歌 第十四 (ジャム) …… 003
	愛 (ベラスコ) …………… 292	哀歌 第十七 (ジャム) …… 256, 290
	愛 (ヘルダーリン) …… 021, 231	哀歌 体 の 詩 章 (ワーズワース) …… 219
	愛 (ペンドレ) …………… 150	哀歌 (二首) (ハウスマン) …… 203
	愛 (マイヤー) …………… 192	哀願 (ワイアット) …………… 205
	愛 I (ピ・チョンドック (皮千得)) …………… 031	
	愛 II (ピ・チョンドック (皮千得)) …………… 031	

アンソロジー内容総覧

外国の詩歌 1946-2020

2021年6月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

不許複製・禁無断転載
〈著丁・乱丁本はお取り替えます〉

〈中性紙三菱クレームエレガ使用〉

ISBN978-4-8169-2881-9

Printed in Japan, 2021

本書はデジタルデータをご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。